

県立高再編 来春開校「東予総合高」

新校の学び 中学生理解

五つの専門学科 160人授業

西条市の小松、丹原、東予の県立3高校の再編統合で来年4月に開校する東予総合高の学校説明会が27日、同市周布の東予高などで開かれた。市内外の中学生160人が、新校に併設される専門学科の授業を体験し、特色ある学びへの理解を深めた。

中学生は工業や商業、家庭科など計5学科13科目の中から興味のある分野を選択。農業では、丹原高の農場を見学し、栽培している農作物を使ったジャム作りを体験した。工業を選んだ中学生は、東予高生の手ほどきを受け、旋盤やボール盤といった工作機械で文鎮作りに挑戦。家庭科の授業では、ポケットティッシュカバーなどの制作があり、それぞれの分野で高校生活のイメージを膨らませた。

東予西中3年菅原暖斗さん(15)は「ものづくりの分野に興味があったので参加した。実際に授業を受けてみて、新校への興味がわいた」。東予高の横田真一教諭(50)は10月にも説明会を開く予定とし「生徒や保護者へ学校の特徴や魅力を発信し、進路選択の一つに考えてもらいたい」と話した。

(伊藤義樹)



東予総合高の体験授業で、ミシンを使ってティッシュカバーを制作する中学生